



ULVAC

COMPANY PROFILE

会社案内



アルバック機工株式会社

ULVAC KIKO, Inc.



ULVAC

**地球に空気があるように、
私たちの暮らしになくてはならない技術。
それが「真空技術」です。**

空気は、普段は意識することなく、あたり前にそこにあります。
けれども私たちの営みには欠かせない生命の源。

真空技術も、それくらい
私たちの暮らしに関わりの深い技術なんです。

世界があっと驚くような大発明や、最新の製品も、
基礎になっているのは歴史に鍛え抜かれた成熟した技術。
「真空」もそんな技術のひとつです。

日々の暮らしから、未来の大発明まで。
私たちは今日も真摯に「真空」と向き合う、
小型真空ポンプの専門メーカーです。



アルバック機工株式会社
代表取締役社長
堀越 誠司

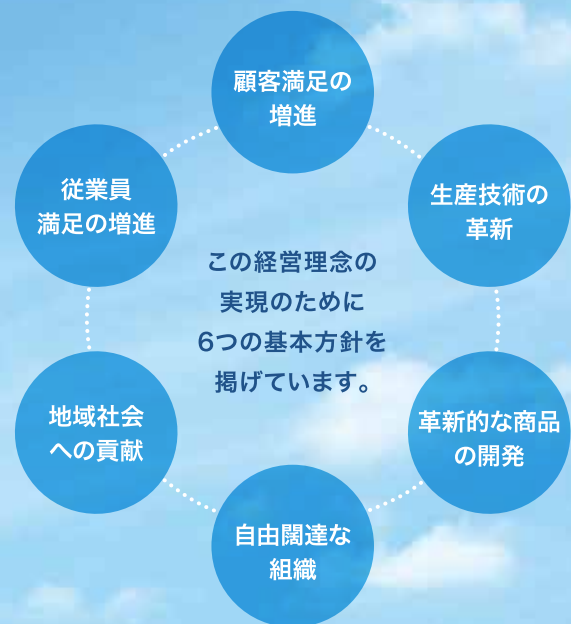
ご挨拶

真空技術は世界の半導体やフラットパネルディスプレイなどの基幹産業を下支えする技術として、無くてはならない存在となっています。当社は創業以来、一貫して小型真空ポンプ、小型真空機器の専門メーカーとして幅広い産業分野に貢献してまいりました。更に当社は、小型・省エネ・クリーンをキーワードにした環境対応商品の創造により代替エネルギー産業や健康・福祉・医療の分野に対しても積極的に商品開発を進めております。

当社は家電製品や自動車など超信頼性を求められるポンプの提供を通じて、安全で高品質の商品を広く世の中に供給しております。また、地球環境の保全は人類の共通の課題となっており、積極的なリサイクル活動を通じて省資源化を図っております。ビジネスの更なるグローバル化が進んでいる中、当社の商品を安定供給するために、日本国内はもとより中国生産の本格化により製造・販売両面で当社のグローバル化を推進しています。当社の商品が、広く産業の発展に寄与し、またあらゆる産業において必要とされるアルバック機工であり続けたいと考えています。今後も皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

アルバック機工株式会社は、小型真空ポンプ・小型真空機器の専門メーカーです。当社は、小型、高性能、高信頼性の製品を市場に供給することを通して、科学技術、産業の発展に寄与することを経営理念として活動しています。



アルバック機工の強み

豊富な機種

多様化するお客様の用途に合った商品を、豊富な機種の中からお選びいただくことができるのは当社の強みです。経験豊富な営業マンがお客様の用途に合った商品を提案いたします。

確かな技術力

豊富な機種の中からお選びいただくだけでなく、経験に裏打ちされた確かな技術力で、お客様の用途に合った新たな商品を開発できるのも当社の強みです。これまでもお客様のご要望にお応えすることによって新たな市場を開拓して参りました。

鍛え抜かれた品質

お客様とのお取引の中で、特に品質管理に厳しい自動車産業や家電製品への供給も経験して参りました。お客様から培った品質管理と信頼性評価のノウハウは当社の強みです。

優れたコストパフォーマンス

積極的に海外調達を進めてきただけでなく、海外の協力工場を直接現地で指導し、当社の品質管理のノウハウを徹底的に移植することによって、コストと品質の両立を求め続けているのも当社の強みです。

グループネットワークによるサービス体制

当社はアルバックグループの中核企業です。世界中に広がるアルバックグループのグローバルネットワークを利用して、世界各地で当社の製品を購入し、メンテナンスを受けることができるのも当社の強みです。

ようこそ“真空の世界”へ

アルバック機工は真空ポンプを作っている会社です。
そう言うと必ず、「真空ポンプって何に使うんですか」と聞かれます。

私たちの生活は、「真空技術」を利用した
数多くの製品や技術によって支えられています。
普段なにげなく利用している日用品や食品、
そして工場の機械や医療の現場でも、
今や「真空技術」無しでは語れないほど、大きな役割を担っています。
無限の可能性を秘めた“真空の世界”をご案内いたします。



“真空”とは

産業の世界では周囲の圧力「大気圧」よりも
低い圧力の空間があれば真空と呼びます。
低い圧力の空間では、
様々な科学現象が起こります。

“真空”で何が起きるか

真空状態では、大気中では起こらないさまざまな物理現象が起こります。

ものが酸化しにくくなったり、音が聞こえなくなったり、熱が伝わらなくなったり、冷たい水が沸騰したり、ものが乾燥したり、金属が蒸発したり、放電が起こりやすくなったりします。

“真空”で何ができるか

真空を利用すれば、吸引や吸着ができます。気体や液体の充填ができます。酸化防止ができます。遮音ができます。断熱ができます。乾燥ができます。蒸留や濃縮ができます。金属の薄い膜を作ることができます。

ものづくりや研究開発の世界では、真空技術は“なくてはならないもの”となっています。

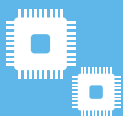
暮らしに身近な真空技術

真空パックされた食品は身近にあります。電球の中も真空です。魔法瓶も内側が真空になっています。吸盤も身近な真空の一つです。

それだけではなく、インスタントコーヒーをつくるのに、メガネを作るのに、パソコンを作るのに、液晶画面を作るのに、その製造工程で真空技術が応用されています。

主な納入分野と真空ポンプが搭載される主な装置・機器

01



半導体装置分野

スパッタリング装置
蒸着装置
ハンドラー
ボンダー
マウンター
テーピングマシン
スクリーン印刷
半導体検査装置
含浸装置
真空炉
液晶注入装置
貼り合わせ装置
露光装置
モールドング装置

02



分析装置分野

走査型電子顕微鏡
透視型電子顕微鏡
オージェ電子分光分析装置
二次イオン質量分析装置
X線解析装置
蛍光X線分析装置
ガスクロマトグラフ質量分析装置
液体クロマトグラフ質量分析装置
ICP質量分析装置
誘導結合プラズマ質量分析装置
コーター

03



医療機器分野

MRI
PET
外科・美容・耳鼻科用吸引器
吸引娩出器
在宅用酸素濃縮器
歯科用電気炉
医療用滅菌器

04



理化学分野

溶媒回収装置
凍結乾燥機
真空乾燥機
真空蒸留装置
真空濃縮装置
真空ろ過装置
エバポレーター
遠心分離機
真空炉
プラズマ滅菌機

05



食品・医薬・ 化学工業分野

真空包装器
液体充填装置
真空脱泡器
凍結乾燥機
自動皮むき機
包装材料組立装置
遠心分離機
漏れ検査装置
ガス置換装置

06



その他

吸収式冷凍機
フロン回収装置
ダストカウンター
ガスサンプラー
酸素富化装置
燃料電池
二次電池製造装置
吸着固定・搬送装置
脱泡装置

アルバック機工の製品

アルバック機工では、お客様のご希望する用途に合わせて最適な真空ポンプと技術を提案します。お客様からの「真空ポンプでこんなことがしたい」、「真空を利用してあんなことがしたい」に応える会社です。



多様なニーズに応じる豊富な商品ラインナップ

以下に掲載の商品の他にも多彩な機種とバリエーションを展開。詳しくはホームページをご覧ください。<http://www.ulvac-kiko.com/>

油回転真空ポンプ



標準タイプ



高機能タイプ



耐蝕タイプ



静音コンパクトタイプ

ドライ真空ポンプ



ダイアフラム型
標準タイプ



ダイアフラム型
加減圧両用タイプ



ダイアフラム型
高真空タイプ



ダイアフラム型
耐蝕タイプ



揺動ピストン型



回転翼型



スクロール型



ルーツ型

小型真空機器



高真空排気装置



小型蒸着装置



スパッタリング装置



ポータブルアスピレーター

製造部門紹介

MANUFACTURING SECTOR



STAFF VOICE

何か問題が起こったら、
部署も役職も関係なく、皆で協力して解決する。
社員の信頼関係がお客様からの信頼にも繋がっていると思います。

製造部 オイルポンプ製造課
瀬戸口 信也

真空ポンプには油を使うオイルポンプと、油を使わないドライポンプがありますが、私はオイルポンプの組み立てを担当しています。次の検査工程を「お客様」だと思って、誠心誠意良い製品づくりを心がけています。アルバック機工の良いところは、何か問題が起きてもみんなで解決しようという意識が根付いていること。製造部で起きた問題の解決に、他部署の人たちが走り回ってくれるのは、本当に心強いと感じます。



正確なのはあたり前。
前回よりどのぐらい作業効率が向上したか ——
毎日、昨日の自分に挑戦しています。

製造部 機械課
遠藤 隆広

アルバック機工では、品質の鍵を握る真空ポンプの部品も社内で生産しています。正確さはもちろんですが、製造工程はスピードも大事。いかに速く高品質な製品を作ることができるか、日々工夫を重ねています。好きな仕事は試作品づくり。初めて作る形だけにとても難しいのですが、やりがいがあります。やる気のある人には必ずチャンスが与えられるのは、この会社のいいところですね。





**性能が安定していて、耐久性があること。
真空ポンプとして「あたり前」の品質を守るために、
あたり前以上の情熱を傾けています。**

幅広い産業分野で利用されている真空ポンプ。
だからこそ水準以上の安定性や耐久性が求められます。
鍵を握るのは高精度・高耐久の部品と、長時間の稼働に耐えるシンプルかつ合理的な設計。
アルバック機工では開発・設計から部品加工、組立、検査まで社内一貫生産。
長年の実績に裏付けられたお客様の信頼を守るため、
たくさんのプロフェッショナルが情熱を傾けています。



**気軽に上司に相談できる雰囲気。
子供2人に恵まれて、まだ仕事を続けていられるのは
そんな風通しの良い環境のおかげですね。**

品質保証部 品質保証課 検査グループ
川野 祐子

協力会社で加工された部品を受け入れるにあたっての検査を実施しています。金属は温度によって伸縮するので、検査室の温度を常に一定に保ち、測定誤差が出ないように気をつけています。上司とのコミュニケーションはとてもスムーズで、困ったときでも相談しやすい雰囲気をつくってくれています。高卒で入社以来、2度の出産・育児を経て働き続けられることに感謝しています。



環境への取り組み

アルバック機工では、環境に対する基本理念や方針を制定し、環境配慮型製品の製造、化学物質や廃棄物の管理、有害物質全廃活動などを通じて、環境活動に取り組んでいます。



【基本理念】

アルバック機工は、地球環境の保全が人類共通の重要課題のひとつとしてとらえ、事業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮し、住みよい地球と豊かな社会の発展に貢献します。

【環境方針】

1. 環境保護に貢献できる製造プロセスの確立
2. 環境保護に貢献できる商品の提供
3. 環境保護に貢献できるリサイクル活動

開発・営業・保守部門紹介

DEVELOPMENT, SALES, MAINTENANCE SECTOR



STAFF VOICE

やりがいもあるが、プレッシャーもある。
新しい製品ができて、お客様に喜んでいただけたときが、
一番嬉しいです。

開発部 開発2課
山中 秋広

開発の仕事を一言でいえば、お客様の要求に応える製品を作ること。決められた期限と予算の中で、求められる性能を十分に発揮できるか。まさに真空ポンプとの知恵比べです。開発部という立場ではありますが、お客様とも直接やりとりします。そんな「まかせてくれる」社風が、アルバック機工にはあります。



真空ポンプの本場ヨーロッパで「日本製」を認めてもらう——
厳しい環境だからこそ湧いてくるチャレンジ精神と、
帰国後の日本食が仕事の原動力です。

営業本部 海外営業部 営業課
犬島 真吾

アメリカ・ヨーロッパを担当しており、それぞれ年に4回程度は現地赶赴して営業活動をしています。真空ポンプはなんといってもヨーロッパが本場。世界のトップ企業が名を連ねる厳しいマーケットで凌ぎを削っています。製品の正確性や耐久性を訴えられるよう、プレゼンテーションにも工夫していますが、遠く離れた日本の製品を高く評価していただけたときは、大きな達成感がありますね。





時代とともに変化する真空ポンプへのニーズ。 お客様の思いをカタチにするために、 どんな難題にも果敢に挑戦します。

何気ない日常のあらゆるところで活躍する真空ポンプ。
人々のライフスタイルの変化とともに、
真空ポンプに対するニーズも刻々と変わっていきます。
その中にはこれまでの常識では到底実現できないような難しいものも。
私たちは、お客様の新製品や研究開発に対する思いを受け止め、
どんな困難にも果敢に挑むチャレンジャーです。



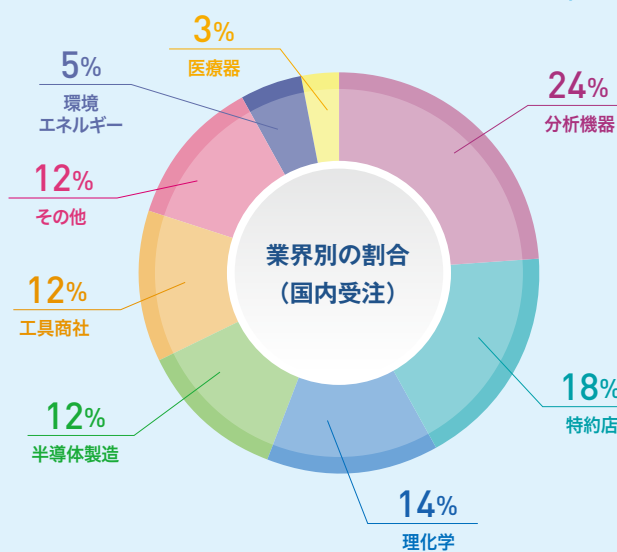
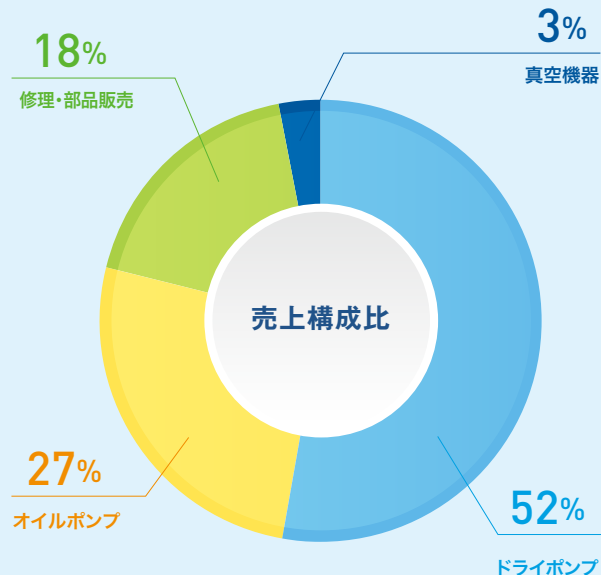
使い込まれて修理に来る製品には、
ひとつひとつ違う「クセ」があって一筋縄ではいきません。
いつまでも大切に使用いただけたら嬉しいですね。

CSセンター 横浜サービス課
小川 直志

同じ型の製品でも、お客様によって使用状況が違うので、修理に来るときには個体ごとにクセがあって、ひとつひとつ全然違うんです。分解するときから細心の注意を払っていないと、修理をしても元の性能が出ないということもあり、とても奥が深い仕事だと感じています。将来はお客様にメンテナンスの指導ができるぐらいの技術を身につけ、海外にも行ってみたいです。



2018年度実績（売上高 56.6億円）



主要取引先【50音順】

株式会社旭ケミカルス	トラスコ中山株式会社
アズワン株式会社	日本電子株式会社
稲畑産業株式会社	日本特殊陶業株式会社
ウシオ電機株式会社	パナソニックスマートファクトリーソリューションズ株式会社
三弘エマテック株式会社	株式会社日立ハイテクノロジーズ
株式会社三商	株式会社FUJI
昭和鉄工株式会社	株式会社山善
ダイドー株式会社	ヤマト科学株式会社
東京硝子器械株式会社	株式会社リガク
東京理化学器械株式会社	ワイエイシー株式会社
株式会社トプコン	アルバックグループ

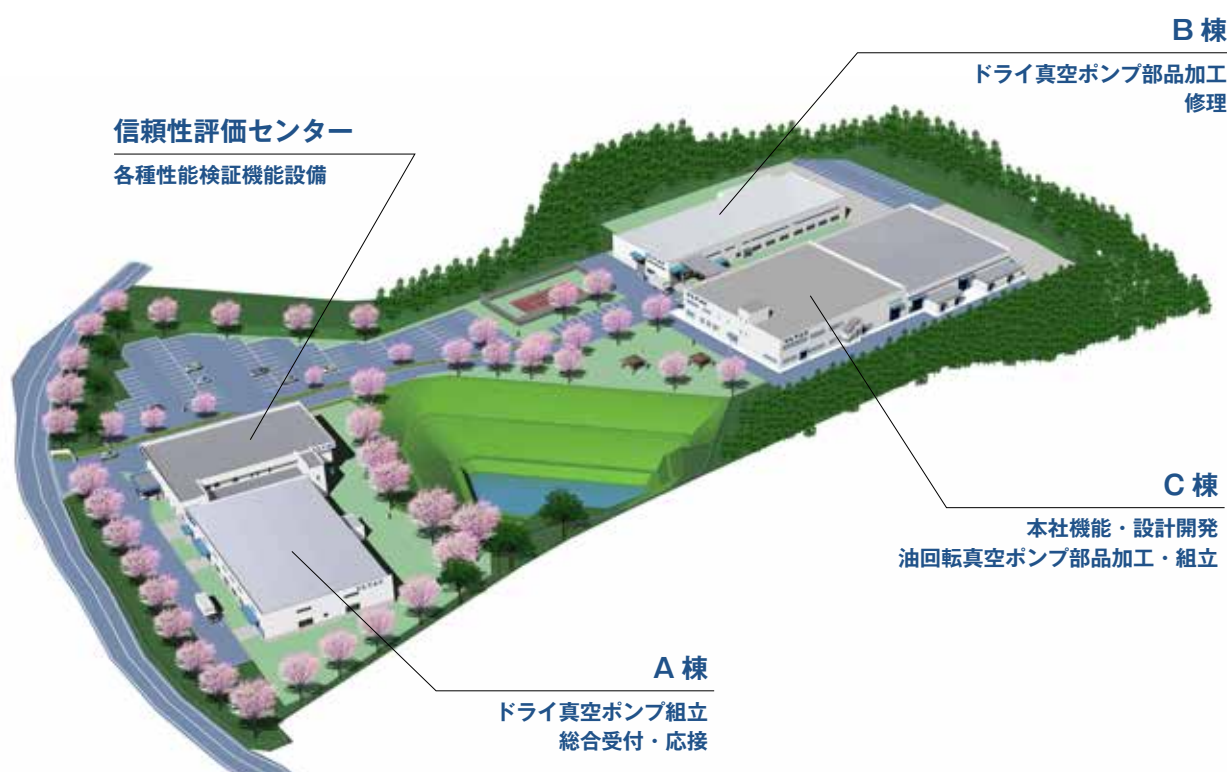
アルバック機工 宮崎本社工場

アルバック機工の製品は、宮崎県西都市の本社工場で、厳しい品質管理体制のもと、生産されています。自然豊かなこの地から、高性能、高信頼性の製品を世界に出荷しています。

敷地面積： 50,890 m²

生産台数： 約 100,000 台

ISO9001、ISO14001、ISO13485 認証取得済



アルバック機工の地域貢献活動

アルバック機工は、地球環境・安全へ配慮した商品の開発や生産活動は元より地域貢献活動も積極的に行い地域社会に貢献しています。一例としては、交通安全活動、寄付金、義援金、救援募金活動、献血活動（日本赤十字社より感謝状受賞）、学生や地域の方々への工場見学、インターンシップの受け入れ等を行っています。

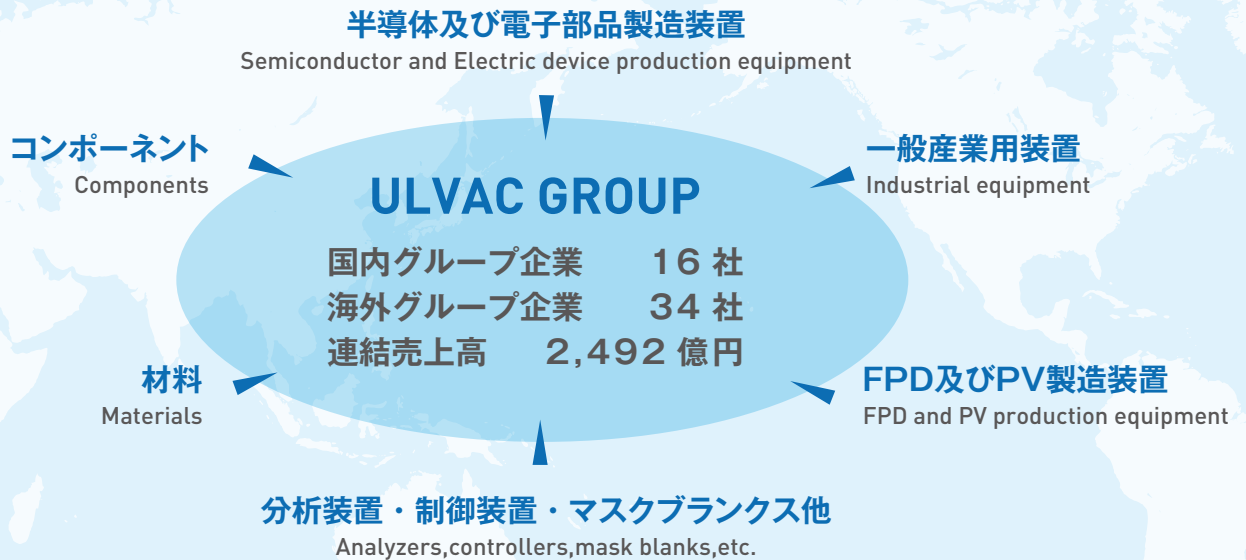
経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定

「地域未来牽引企業」の選定は、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を、更に積極的に展開することが期待される企業に贈られるものです。



「真空」のリーディングカンパニーとして、
世界に広がるアルバックのネットワーク

アルバックグループは、真空ポンプの製造から
半導体などの製造ライン設計・施工、関連資材販売まで
真空のスペシャリストとして世界に拠点を展開。
海外での保守体制も確立しています。



国内グループ

株式会社アルバック
アルバックテクノ株式会社
アルバック九州株式会社
アルバック東北株式会社
アルバック販売株式会社
アルバック・クライオ株式会社
アルバック・ファイ株式会社
タイゴールド株式会社
アルバック成膜株式会社
日真制御株式会社
アルバックヒューマンリレーションズ株式会社
真空セラミックス株式会社
株式会社ファインサーフェス技術
株式会社REJ
株式会社昭和真空

海外グループ

アメリカ

ULVAC Technologies, Inc.
Physical Electronics USA, Inc.

ヨーロッパ

ULVAC GmbH

中国

愛発科(中国)投資有限公司
寧波愛発科真空技術有限公司
愛発科真空技術(蘇州)有限公司
愛発科東方真空(成都)有限公司
愛発科自動化科技(上海)有限公司
愛発科天馬電機(靖江)有限公司
愛発科真空技術(沈陽)有限公司
愛発科商貿(上海)有限公司
愛発科電子材料(蘇州)有限公司
愛発科豪威光電薄膜科技(深圳)有限公司
寧波愛発科低温泵有限公司
寧波愛発科精密铸件有限公司
愛発科(蘇州)技術研究開発有限公司
香港真空有限公司
愛発科真空設備(上海)有限公司

台湾

ULVAC TAIWAN INC.
ULVAC CLEAN PRECISION TECHNOLOGIES CORP.
ULCORT TAIWAN, Inc.
ULVAC AUTOMATION TAIWAN, Inc.
ULVAC SOFTWARE CREATIVE TECHNOLOGY, CO., LTD.
ULVAC Materials Taiwan, Inc.

韓国

ULVAC KOREA, Ltd.
Ulvac Korea Precision, Ltd.
Pure Surface Technology, Ltd.
ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED
ULVAC Materials Korea, Ltd.
UF TECH, Ltd.

東南アジア

ULVAC SINGAPORE PTE LTD
ULVAC MALAYSIA SDN. BHD.
ULVAC (THAILAND) LTD.

インド

ULVAC, Inc. India Branch

会社概要

DATA

社名	アルバック機工株式会社 ULVAC KIKO, Inc.
所在地	宮崎県西都市大字茶臼原291-7
設立	1971年7月1日
役員構成	代表取締役社長 堀越 誠司 常務取締役 柳田 博文 取締役 寺下 裕介 取締役 中村 隆 取締役 野崎 真人 取締役 非常勤 申 周勲 監査役 非常勤 清水 雅人
資本金	2億8千万円
主な株主	株式会社アルバック 100%
従業員数	264名 (2019年4月1日現在)
取引銀行	三菱東京UFJ銀行 横浜西口支店 みずほ銀行 銀座支店 横浜銀行 新横浜支店 三井住友銀行 東京中央支店 宮崎銀行 西都支店
事業内容	・ 真空ポンプ、及び真空機器の開発、 製造、販売、及び輸出入 ・ 医療機器の製造 ・ 前各号に付帯する修理業務 ・ 前各号に付帯する一切の業務

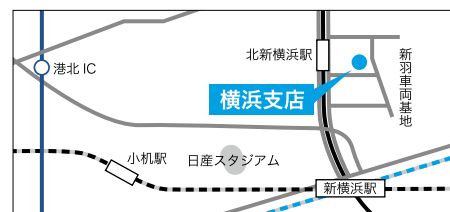
HISTORY

- 1971. 7 真空理工(株)より機工部門を継承し、
神奈川県横浜市白山町に真空機工(株)を設立
- 1976. 8 大阪営業所(現大阪支店)開設
- 1983. 7 鹿児島工場開設
- 1984. 3 本社を神奈川県横浜市佐江戸町に移転
- 1988. 3 本社を神奈川県横浜市新横浜に移転
- 1988.12 サービスセンター(現CSセンター)開設
- 1996. 1 宮崎工場開設
- 1997. 2 ISO 9001 認証取得
- 2001. 3 ISO 14001 認証取得
- 2001. 4 アルバック機工(株)に改称
- 2001. 5 中国生産拠点 寧波アルバック稼働開始
- 2001. 5 中国協力工場 アルバック天馬電機稼働開始
- 2005. 4 岡崎営業所(現名古屋支店)開設
- 2006. 9 宮崎工場増設
同時に鹿児島工場を閉鎖し、宮崎工場と統合
- 2007. 9 本社を宮崎県西都市(現所在地)に移転
同時に従来の本社を横浜支店に改称
- 2008. 8 横浜支店を現所在地に移転
- 2008. 9 CSセンターを現所在地に移転
- 2008.11 大阪支店を現所在地に移転
- 2014.10 名古屋支店を現所在地に移転
- 2015. 4 ISO 13485 認証取得
- 2017.12 経済産業省より地域未来牽引企業に選定

ACCESS



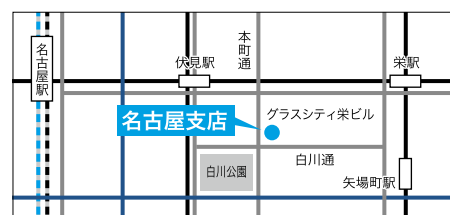
JR 高崎駅下車 タクシーで約30分



横浜市営地下鉄(ブルーライン)北新横浜駅下車 徒歩で約2分



JR 新大阪駅下車 徒歩で約5分



地下鉄東山線伏見駅または栄駅下車 徒歩で約7分

OFFICE LOCATION

本 社 ・ 工 場 | 〒881-0037 宮崎県西都市大字茶臼原291-7
Tel.(0983)42-1411(代) Fax.(0983)42-1422

横 浜 支 店 | 〒223-0059 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-10-4
Tel.(045)533-0203(代) Fax.(045)533-0204

大 阪 支 店 | 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-3-31(上村ニッセイビル5F)
Tel.(06)6350-2166(代) Fax.(06)6350-2169

名 古 屋 支 店 | 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-11-31(グラスシティ栄ビル8F)
Tel.(052)249-5121(代) Fax.(052)249-5122

CSセンター
宮崎サービス | 〒881-0037 宮崎県西都市大字茶臼原291-7
Tel.(0983)42-4135(直通) Fax.(0983)43-2159

CSセンター
横浜サービス | 〒223-0059 神奈川県横浜市港北区北新横浜1-10-4
Tel.(045)533-0509(直通) Fax.(045)533-0512

ULVAC

アルバック機工株式会社
ULVAC KIKO, Inc.

www.ulvac-kiko.com

201907500KSP